



# 第70回近畿高等学校バスケットボール大会

## 個人トータル表

男子

令和5年6月24日 15:40 開始

準々決勝

ジェイテクトアリーナ奈良 B

報徳学園 70  
(兵庫)

11	1st	23
18	2nd	13
19	3rd	20
22	4th	16

72 ◎ 大阪学院  
(大阪)

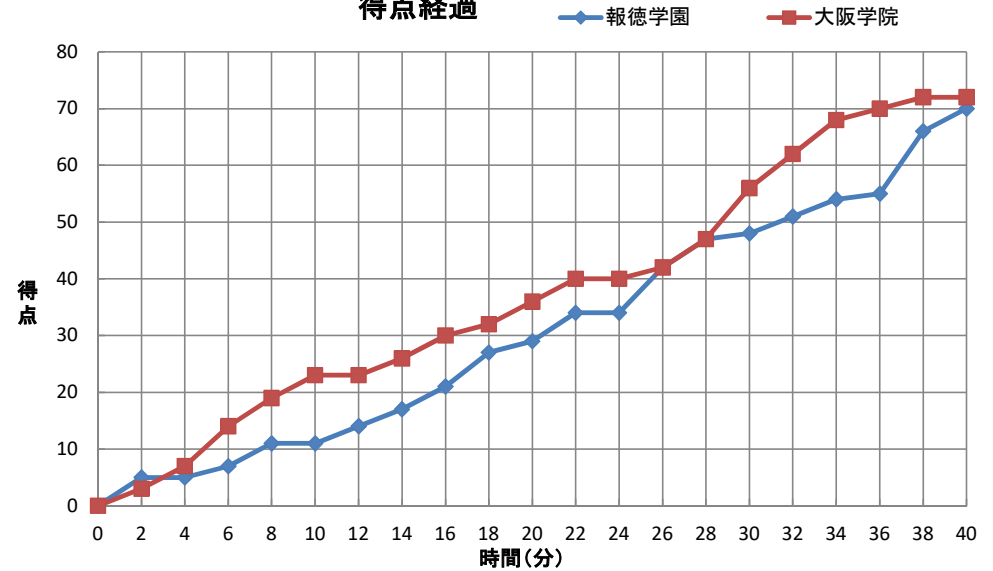
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
00	山本 獅子	-	-	-	-	-	* 4	槌田 要太	2	0	1	0	4
2	宮菌 遼	6	2	0	0	4	* 5	道澤 晴	17	1	6	2	1
3	富本 真脩	-	-	-	-	-	* 6	太田 凜	29	2	9	5	0
5	江岡 大登	-	-	-	-	-	7	中島 暖登	9	0	1	7	5
* 7	森本 虎志	30	1	10	7	3	8	高口 絢太	0	0	0	0	2
* 8	森 脩平	0	0	0	0	1	* 9	池田 頼鷹	10	0	4	2	2
* 10	大澤 一輝	13	1	4	2	3	10	熊谷 蓮太郎	0	0	0	0	4
* 13	星原 甲治	3	1	0	0	3	11	西村 隆成	-	-	-	-	-
15	久保 晴熙	-	-	-	-	-	12	松岡 弘樹	-	-	-	-	-
17	磯部 羅王	-	-	-	-	-	13	末継 惇也	-	-	-	-	-
21	福本 有都	2	0	1	0	1	14	泉 勇雅	0	0	0	0	0
16	日下 尚哉	-	-	-	-	-	15	水島 遊瑳	-	-	-	-	-
71	北村 優光	0	0	0	0	2	* 16	舟谷 陽人	5	0	2	1	1
74	美川 祐亮	0	0	0	0	1	17	宇都宮 隆汰	-	-	-	-	-
* 97	井藤 匠哉	16	1	6	1	3	18	大澤 一斗	-	-	-	-	-
コーチ	田中 敬						コーチ	高橋 渉					
Aコーチ	更谷 知則						Aコーチ	梁川 禎浩					
合計		70	6	21	10	21	合計		72	3	23	17	19

クルーチーフ: 石川 淳也

1stアンパイア: 笹川 尚宏

2ndアンパイア: 石井 寛都

## 得点経過



TO	1・2Q	3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	5:32	:	30:21	33:59	38:57	:	:	:
TeamB	19:58	:	:	:	:	:	:	:

### 〔戦評〕

報徳(7)(8)(10)(13)(97)、学院(4)(5)(6)(9)(16)  
 第1ピリオド、両チームともマンツーマンでスタートするも、報徳は学院(6)にフェイスガード、報徳はプレスディフェンスと互いにディフェンスから仕掛けていく。学院は、(6)太田の裏をついたバックカットからのレイアップシュートや(5)道澤のミドルシュートで軽快に得点を重ねる。報徳もタイムアウトをはさみ(7)森本のファストブレイクで食い下がるが、学院の勢いは止まらず(5)道澤のダンクシュートでたまたま2回目のタイムアウト。学院がリードする展開で、11対23で第1ピリオド終了。  
 第2ピリオド、報徳(97)井藤の3Pや(7)森本のバスケットカウントで主導権を引き戻そうとするも、学院もディフェンスのプレッシャーを強めて簡単には譲らない。互いに守りあい、均衡が続く中、高さで勝る報徳が積極的なリバウンドから徐々に点差を縮める。学院は(6)太田、報徳も(7)森本が得点をつなぐが、どちらも流れを掴みきれず29対36で前半終了。  
 第3ピリオド、学院は(9)池田の2Pで快調な滑り出しであったが、報徳が(7)森本を中心にスコアを重ね(71)北村の巧みなドライブや(2)宮菌の3Pで一時逆転。このまま、報徳がペースを掴むかと思われたが、学院も(16)水島のミドルシュートを皮切りに連続して得点を続け、最後は(6)太田のプザービーターロング3Pで再度突き放し、48対56で第3ピリオド終了。  
 第4ピリオド、勢いそのままに学院が(9)と(6)の連続得点で開始直後に報徳がタイムアウト。立て直しを図るが、じりじりと点差を離され14点差。再度タイムアウトを要求すると、そこから報徳の執念の追い上げ。学院(6)太田のレイアップを報徳(10)大澤がブロックショット、ファストブレイクから(97)井藤の2Pで4点差。残り1分をきり2点差まで詰め寄る報徳に対し、苦しい学院であったが、最後は逆転を狙った報徳の3Pをしのごきり70対72の学院の勝利で試合終了。

戦評: 峠 和貴

記録: 生駒高校